

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

## ★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

※6月は開催中止（山口県新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策の期間延長のため）

《5月のおはなし会で使った本》

『もこもこ』（大型絵本）谷川俊太郎/作 文研出版 2006

『はじめまして』（大型絵本）新沢としひこ/作 鈴木出版 2006

『パンダくんのおにぎり』（大型絵本）いしかわこうじ/絵・文 ポプラ社 2020

『おはいんなさい!』（紙芝居）さいとうしのぶ/脚本・絵 童心社 2020

## ★「幼稚園・保育園のための子ども読書研修会」

※開催延期（山口県新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策の期間延長のため）

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○日時：未定

○内容：「知って楽しむ紙芝居 ～読み聞かせのコツと選び方～」

○対象：県内の幼稚園教諭、保育士等

## ★「第1回子どもと本をつなぐスキルアップ講座」

○会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム ○日時：6月26日（土） 14:00～15:45

○内容：「乳幼児と本との出会いをしかける ～おはなし会の実践と保護者へのアプローチ～」

○定員：60名（要申込み） ○対象：県内の子ども読書ボランティア、公共図書館職員、保育士、幼稚園教諭等

○申込方法：6月23日（水）までに、電話、FAX、Eメールで申込み

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

## ＜絵本－乳幼児から＞

『めがねがね』 tupera tupera/さく ひさかたチャイルド 2021.3 ¥1400

かえるさんがぴよーんとはねたら、めがねがとんでった。どこいった？黄色いめがね、草にひっかかっていた。こんなところにあつたのね。これで元気に泳ぐおたまじゃくしのこどもたちもよく見える。きりんさんのめがね、首を振ったらとんでった！どこいった？ぞうさんのしっぽにひっかかっていた。おじさんのめがねは、どこいった…？ポップな色づかみが楽しい、ユーモアあふれる絵本。

## ＜絵本－3、4歳から＞

『いちにち』 ひろたあきら/さく KADOKAWA 2021.4 ¥1000

「さかなの いちにちが はじまります。」青い小さなさかなはくいしんぼう。今日のごはんは、何を食べたかな？絵の才能もあるさかな。今日は色鉛筆で、どんな絵を描くのかな？本を読んで勉強をする魚。今日はどんな本を読むのかな？さがし絵や迷路も楽しめる、さかなの不思議な一日を描いた絵本。さかなと一緒に水槽から飛び出して、想像の翼を広げてみよう！

『じべた』 たにかわしゅんたろう/ぶん くらだせいとろう/え 橙書店 2021.3 ¥1500

大昔からそこにある「じべた」。花が咲いたり水たまりができたりぬかるみになったり。雨がたくさん降るとみんな流されてしまいうけれど、じべたは流されない。機械はじべたに穴を掘りビルを建てる。でもじべたはいつもそこにある。震災の記憶を忘れないよう、じべたに思いを馳せ、詩人と画家がふたりの想うじべたを描き出す。巻末の作者二人の大地に寝そべるプロフィール写真に心奪われる。

## ＜絵本－小学校低学年から＞

『いへのなかといへのそとで』 レウィン・ファミ/さく 横山和江/やく 廣済堂あかつき 2021.3 ¥1600

コロナ禍で世界中で家から出なくなった人たち。そうすることが命を守るために必要なことだと誰もが知っている。でも一方、家にもれない人たちもいる。それは家の外で仕事をする必要のある人たち、みんなのために働かなくてはならない人たち…。家の中と家の外のこれまでとは違う世界を描き、その変化を受け入れつつ、必ず春はやってくるという希望と元気を与えてくれる絵本。

## ＜絵本－小学校中学年から＞

『木は何を見てきたの?』 シャーロット・ギラン/文 サム・アッシュャー/絵 高部圭司/訳 化学同人 2021.3 ¥1900

枝から落ちて土にもぐりこんだドングリが、やがて芽を出し、木になり数百年。ずっと丘の上から周囲を見守り続けてきた年老いたナラの木の目を通して、移りゆく環境の変化を静かに描く。巻末には、ナラの木が大きくなるまでの期間、西暦1000年から現代までの日本や世界で起こった出来事や、生まれてから土にかえるまでのナラの木の一生、木と友だちになる方法なども掲載。

## ＜読み物－小学校低学年から＞

『つくしちゃんとおねえちゃん』 いたうみく/作 丹地陽子/絵 福音館書店 2021.3 ¥1200

頭がよくてピアノも上手、少しおこりっぽくていざりんぼう。歩く時、少し右足をひきずる小4のかえでは、二歳下のつくしにとっては自慢のおねえちゃん。ある朝、登校中のアクシデントで遅刻しそうになった二人。走れないおねえちゃんがつくしに先に走

って登校するように言い、先に着いたつくしは、校門の先生に事情を説明する。妹のつくしの視点から綴った、姉妹の5つのお話。

#### <読み物—小学校中学年から>

『サイコーの通知表』 工藤純子/著 講談社 2021.3 ¥1400

成績優秀の叶希、成績表はすべて「ふつう」のほく、成績表が悪くて、クリスマスプレゼントもお年玉の額も希望が叶わなかった大河は、担任のハシケン先生に通知表をつけることに。どうせなら、ちゃんとやる気にさせる通知表にしたいと、クラスのみんなを巻き込み、観点を打ち合わせ、先生の大観察が始まる。大人に評価される子どもの気持ちが繊細に描かれ、大人も読みたいお話。

#### <読み物—小学校高学年から>

『エカシの森と子馬のポンコ』 加藤多一/作 大野八生/絵 ポプラ社 2020.12 ¥1600

北海道の乳牛牧場で生まれた子馬のポンコ。牧場を逃げ出し、森で自由に暮らしていた。森では、ガガイモのタネや、400年以上もこの森に生きているハルニレの長老の大木「エカシ」、カメムシたちが、ポンコに大人になる意味を教えてくれる。子馬のポンコの成長を、やさしくあたたかなまなざしで描く物語。第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書小学校高学年の部。

『わたしの気になるあの子』 朝比奈春子/作 水元さきの/絵 ポプラ社 2021.2 ¥1400

突然坊主頭にして登校してきた小6の詩音。理不尽な校則に反発する高2の姉が坊主にしたことに強く共感したからだ。みんなに好奇の目で見られる詩音に寄り添いたいクラスメイトの瑠美奈だったが、一方の詩音は素直になれない。そしてジェンダーに疑問を感じていた瑠美奈は、詩音を理解するために自分も坊主頭に。詩音と瑠美奈のそれぞれの立場で綴られる多様性をテーマにした物語。

#### <読み物—中学生から>

『ゴースト・ボーイズ —ぼくが十二歳で死んだわけ—』 ジュエル・パーカー・ローズ/著 武富博子/訳 評論社 2021.4 ¥1500

ジェロームは12歳。シカゴのスラムに住み、目立たないように生きていた。ある日、おもちゃの銃で遊んでいると背後から撃たれ「ゴースト」に。なぜか、自分を撃った巡査の娘、セリアには「ゴースト」の姿が見えていた。セリアの元にはエメット・ティルのゴーストも現れる。アメリカだけでなく、身近なところに潜む差別意識を再確認させられる作品。

#### <ノンフィクション—小学校低学年から>

『気持ちを届けよう!世界にひとつの手作り手紙』 寺西恵里子/作 汐文社 2021.3 ¥2500

絵を描いたり紙を切り抜いたり貼り付けたりして、世界にひとつの手紙を作って気持ちを届けよう!手紙や招待状を、ポップアップカード、プログラムカードなどにデコレーションする方法を、写真で分かりやすく紹介。コピーして使える実物大の型紙や、例文も掲載。『①ありがとうの手紙』『②おめでとうの手紙・招待状』『③季節と行事の手紙』の全3巻。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『カラスのいいぶん』 嶋田泰子/著 岡本順/絵 童心社 2020.12 ¥1200

私たちの生活の身近なところに生息するカラスは、ごみを散らかし人を威嚇する嫌われ者。著者は、集団購入した鶏卵を、玄関先で30分で12個盗まれる被害を受け、こんなことをするカラスには、それなりの言い分があるのではと観察・調査を始める。都会でよくみられるハシブトガラスの生態記録の本。第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書小学校中学年の部。

『ブタとともに』 山地として/著 青幻舎 2021.1 ¥1800

香川県の西の海に面した暖かい町で養豚業を営んでいたお父さん。1970年代後半に自然豊かな地に移ってからは、1200頭を飼育するまでに。生まれた子ブタを愛情いっぱい大切に育て、半年でお肉にするために市場へ送る。2007年まで香川県にあった養豚場の風景を写真で紹介。第42回山口県夏休み小学生読書感想文コンクール推薦図書中学年。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『クジラをめぐる冒険』 石川創/著 旬報社 2020.11 ¥1500

クジラとはどんな生き物なのか。謎だらけの生態や、人間とのかかわりの歴史、調査捕鯨で南極毎にクジラ調査に出かけた際の体験、環境保護団体との攻防や、捕鯨問題が解決できない理由等をわかりやすく解説。著者は、獣医師で、2012年下関市に新設された鯨類研究室の元室長。第42回山口県夏休み小学生読書感想文コンクール推薦図書高学年。

#### <ノンフィクション—中学生から>

『未来をつくるあなたへ』 中満泉/著 岩波書店 2021.3 ¥1450

紛争、難民、ジェンダーなど、今、世界が直面している様々な問題について、国連事務次長で軍縮担当の著者の経験をもとに考えを述べる。若者たち自身が、自分たちが生きていく未来をよりよくしていくために、一歩を踏み出すヒントとなるブックリストも掲載。2019年4月~2021年1月の「毎日小学生新聞」の連載記事に加筆修正。岩波ジュニアスタートブックス。

『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』 宮田律/著 平凡社 2021.4 ¥1400

2019年12月アフガニスタン東部のジャララバードで銃撃され亡くなった中村哲医師の活動と現地の情勢とを伝える1冊。中村医師はアフガニスタンの人々に愛されていたにも関わらず襲撃され、落命した。現地で平和を維持することの難しさが浮かび上がる。日本に生きる我々が平和のためにできることも投げかける著作。

#### <研究書>

『学校図書館サービス論』 前田稔/著 堀川照代/著 放送大学教育振興会 2021.3 ¥3300

学校司書養成のモデルカリキュラムの一科目『学校図書館サービス論』の教科書として執筆された放送大学教材。文部科学省が示す『学校図書館ガイドライン』をサービス面から読み解くことを意図しているため、章ごとに同ガイドラインの参照箇所が丁寧に示されている。『東京学芸大学授業に役立つ学校図書館活用データベース』と連携し、同データベースから事例も多数転載されている。

『岩波少年文庫のあゆみ 1950-2020』 若菜晃子/編著 岩波書店 2021.3 ¥1000

1950年、戦後まもなくのクリスマスに創刊され、2020年に70周年を迎えた岩波少年文庫。その70年のあゆみを振り返りつつ、代表作を解説、挿絵や翻訳の仕事を紹介している。文章の合間に収められ、表紙の模様やマーク、しおりのことまで取り上げたコラムも楽しい。巻末に関連年譜と総目録あり。総目録は各作品の内容紹介の他、改版・改訳・装丁の情報もあり目録として便利。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。